

2020年3月  
TG/99/4 2011-10-20 に準拠

# オリーブ種

OLIVE

(*Olea europaea* L.)

## オリーブ種審査基準

### I. 審査基準の対象 (Subject of these Guidelines)

この審査基準は、モクセイ科 (Oleaceae) オリーブ属オリーブ種 (*Olea europaea* L.) の全ての品種に適用する。

### II. 提出種苗 (Material Required)

- i) 種苗の形態 1年生苗木、自根又は審査当局が指定する台木に接ぎ木したもの
- ii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iii) 数量 7個体
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

### III. 試験の実施 (Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 5個体
- iii) 栽培期間 2生育周期
- iv) 調査方法

調査個体数 特に指示がない限り、植物体5個体又は各個体から4個ずつ採取した部分20個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等 以下に従って調査する。

(a) 葉身：十分に生育した前年枝の中央部分の十分に生育した葉で評価する。

Observations should be made on fully developed leaves from the central part of one-year-old shoots in full growth.

(b) 花序：結果枝中央部分の花序で評価する。

Observations should be made on inflorescences from the central part of fruiting branches.

(c) 果実：十分に成熟した果実で評価する。果実に関してはA面とB面の2箇所を使用する。

A面は、器官が最も非対称を示す位置である。

B面は、観察者に対して最も発育した部分を示すように、A面から縦断面を90°回転させた位置である。

Observations should be made on fully ripened fruits at time of ripening. For the fruit two positions (A and B) are used. Position A is the position in which the organ shows its largest asymmetry. Position B is reached from position A by turning 90° along the longitudinal axis in a way to present the most developed part of the organ to the observer.



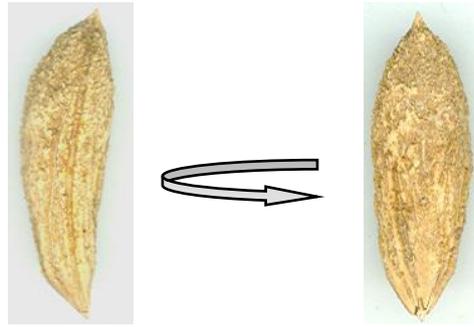
A面	90° 回転する	B面
Position A	Turn fruit 90°	Position B
最も非対称な面		最も対称な面
Most asymmetric		Most symmetric

(d)未成熟果：未成熟果の調査は、樹上の果実の10%が着色したときに評価する。調査する果実は十分に発育しているが、着色していないものである。

All observations of the immature fruit should be done when 10% of the fruit on the tree has colored. The fruit to be observed should be fully developed and not yet have colored.

(e)核：核の調査は、果実調査に使用したものと同一試料を常温で1週間程度乾燥した十分にきれいなもので評価する。核に関してはA面とB面の2箇所を使用する。A面は、器官が最も非対称を示す場所である。B面は、観察者に対して最も発育した部分を示すように、A面から縦断面を90°回転して到達する場所である。

All observations on the stone should be made on dry well-cleaned stones of the same sample used for the observations on the fruit. For the stone two positions (A and B) are used. Position A is the position in which the organ shows its largest asymmetry. Position B is reached from position A by turning 90° along the longitudinal axis in a way to present the most developed part of the organ to the observer.



A面                      90° 回転する                      B面  
 Position A      Turn stone 90°      Position B  
 最も非対称な面                      最も対称な面  
 Most asymmetric                      Most symmetric

- v) 特別な試験                      特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がそれに同意した場合は実施することがある。

#### IV. 判定基準 (Standards for Decisions)

判定は、登録出願品種審査要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

均一性については、供試される個体数が5の場合、許容される異型個体数は0である。

#### V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

- i) 樹姿 (形質 2)
- ii) 果実の重さ (形質 15)
- iii) A 面における果実の形 (形質 16)
- iv) A 面における果実先端の形 (形質 23)
- v) 果実の突起 (形質 24)
- vi) 核の長さ/幅 (形質 30)
- vii) 核の重さ (形質 31)
- viii) 核の突起の有無 (形質 37)
- ix) 核表面のしわの強弱 (形質 39)

#### VI. 特性表で使用する記号の説明 (Legend)

- G : グループ分けに使用する形質
- (\*) : 品種記載の国際調和のための必須調査形質
- QL : 質的形質
- QN : 量的形質
- PQ : 擬似の質的形質
- (+) : VIIIに特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

網掛け（特性表のピンク色の部分）：願書に添付する説明書（種苗法施行規則第7条、別記様式第2号）に出願者が記載する特性及び階級値

#### 状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

VII. 特性表 (Table of Characteristics)

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QN (* (+)	樹勢	Tree: vigor	樹冠の生育を含んだ栄養成長の全体的な量(高さ、量)	観察 VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ネバディロ・ブランコ ルッカ	
2	2	QN (* (+) G	樹姿	Tree: growth habit	枝梢の自然な着生角度	観察 VG	1 3 5	直立 開張 下垂	upright spreading drooping	シプレッシーノ、ミッシェン ルッカ、マンザニコ マウリーノ	
3	3	QN (* (+)	枝の粗密	Tree: canopy density	樹冠の栄養成長の全体的な量(節間長、枝の数と勢い、葉の大きさ)	観察 VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense	ミッシェン コロネイキ	
4	5	QN (*	葉身の長さ	Leaf blade: length	前年枝中央部の最大葉の葉身の長さ	測定 cm MS (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ミッシェン	
5	6	QN (*	葉身の幅	Leaf blade: width	前年枝中央部の最大葉の伸展した状態での最大幅	測定 cm MS (a)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ミッシェン	
6	7	QN (* (+)	葉身の長さ／幅	Leaf blade: ratio length/width	葉身の長さ／幅	測定 比 MS (a)	3 5 7	小 中 大	slightly elongated moderately elongated very elongated	アルベキーナ、イトラナ セビラノ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
7	8	QN	葉身表面の緑色の濃淡	Leaf blade: intensity of green color of upper side	葉身表面の緑色の濃淡	観察 VG (a)	1 2 3	淡 中 濃	light medium dark	ネバディロ・ブランコ、アルベキーナ マンザニコ、ミッション セビラノ、ルッカ	
8	9	PQ (* (+)	葉身の縦断面の曲がり	Leaf blade: curvature of longitudinal axis	葉身の縦断面の曲がり	観察 VG (a)	1 2 3	内曲 平 外曲	incurved straight recurved	マンザニコ、ミッション アルベキーナ	
9	10	QN	葉身のねじれ	Leaf blade: twisting	葉身のねじれ	観察 VG (a)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak moderate strong		
10	11	QN (+)	花序の長さ	Inflorescence: length	花序の長さ	測定 cm MS (b)	1 2 3	短 中 長	short medium long	コロネイキ、マンザニコ ミッション、ルッカ	
11	12	QN (+)	花序の幅	Inflorescence: width	花序の幅	測定 cm MS (b)	1 2 3	狭 中 広	narrow medium broad	アルベキーナ マンザニコ、ルッカ カラマタ	
12	13	QN (+)	花弁の姿勢	Flower: attitude of corolla lobe	花弁の姿勢	観察 VG (b)	1 2 3	立 平 外反	erect horizontal reflexed	アザパ、カラマタ アルベキーナ、ミッション フランドイオ、レッチーノ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13	14	QN	果実の長さ	Fruit: length	果実の最大長	測定 cm MS (c)	1 3 5 7 9	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	アルベキーナ マンザニコ アスコラナ・テネラ	
14	15	QN	B面における果実の幅	Fruit: width in position B	B面における果実の幅	測定 cm MS (c)	1 3 5 7 9	極狭 狭 中 広 極広	very narrow narrow medium broad very broad	コロネイキ マンザニコ	
15	16	QN (* G	果実の重さ	Fruit: weight	果実の重さ	測定 g MG (c)	1 3 5 7 9	極軽 軽 中 重 極重	very low low medium high very high	コロネイキ アスコラナ・テネラ セビラノ	
16	17	PQ (+ G	A面における果実の形	Fruit: shape in position A	A面における果実の形	観察 VG (c)	1 2 3 4 5 6	卵形 長方形 狭楕円形 楕円形 円形 倒卵形	ovate oblong narrow elliptic medium elliptic circular obovate	セビラノ フランドイオ ミッション マンザニコ ルッカ、タジャスカ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
17	18	QN (*)	A面における果実の長さ／幅	Fruit: ratio length/ width in position A	A面における果実の長さ／幅 AB面の判定が困難(同じ)である場合は、最大幅とする。	観察 VG (c)	3 5 7	小 中 大	slightly elongated moderately elongated very elongated	マンザニコ フランドイオ	
18	19	QN	未成熟果の緑色の濃淡	Immature fruit: intensity of green color	未成熟果の緑色の濃淡 果粉を除去して評価する。	観察 VG (d)	1 2 3	淡 中 濃	light medium dark	アベルキーナ マンザニコ、バロウニ イトラナ、ミッション	
19	20	QN	未成熟果の果点の大きさ	Immature fruit: size of lenticels	未成熟果の果点の大きさ 果粉を除去して評価する。	観察 VG (d)	1 2 3	小 中 大	small medium large	レッチーノ、マンザニコ アスコラナ・テネラ、ルッカ セビラノ	
20	21	QN	未成熟果の果点の数	Immature fruit: number of lenticels	未成熟果の果点の数 果粉を除去して評価する。	観察 VG (d)	1 2 3	少 中 多	few medium many	マンザニコ アルベキーナ ミッション	
21	22	PQ (*)	果皮を覆う色	Fruit: over color at full maturity	果皮を覆う色 果粉を除去して評価する。	観察 VG (c)	1 2 3	紫 濃紫 黒	medium violet dark violet black	セビラノ ミッション ピクアル	
22	23	QN (*)	A面における果実の対称性	Fruit: symmetry in position A	A面における果実の対称性	観察 VG (c)	1 2 3	対称 弱く非対称 強く非対称	symmetric weakly asymmetric strongly asymmetric	マンザニコ ミッション カラマタ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
23	24	PQ (* G	A面における果実先端の形	Fruit: shape of apex in position A	A面における果頂部の形	観察 VG (c)	1 2 3	鋭 鈍 円	acute obtuse rounded	カラマタ コラティーナ、セビラノ マンザニコ	
24	25	QN (* (+) G	果実の突起	Fruit: nipple	果頂部の突起	観察 VG (c)	1 2 3	無または弱 中 強	absent or weak moderate strong	マンザニコ	
25	26	QN (* (+)	A面における果実基部の形	Fruit: shape of base in position A	A面における果梗部の形	観察 VG (c)	1 2 3	円 円～切形 切形	rounded rounded to truncate truncate	セビラノ マンザニコ	
26	27	QN (+)	果実表面の果粉の強弱	Fruit: bloom of surface	果実表面のブルームの強弱	観察 VG (c)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ミッション、マンザニコ マウリーノ、フランドイオ カラマタ	
27	28	PQ (+)	B面における核の形	Stone: shape in position B	B面における核の形	観察 VG (e)	1 2 3 4 5	卵形 長方形 楕円形 円形 倒卵形	ovate oblong elliptic circular obovate	レッチーノ ミッション ルッカ、タジャスカ	
28	29	QN	核の長さ	Stone: length	核の長さ	測定 mm MS (e)	3 5 7	短 中 長	short medium long	アルベキーナ ミッション	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
29	30	QN	B面における核の幅	Stone: width in position B	B面における核の幅	測定 mm MS (e)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	コロネイキ ミッション	
30	31	QN (* G	核の長さ／幅	Stone: ratio length/ width	B面における核の長さ／幅	観察 VG (e)	1 2 3	小 中 大	slightly elongated moderately elongated very elongated	アルベキーナ ルッカ	
31	32	QN (* G	核の重さ	Stone: weight	核の重さ	測定 g MG (e)	1 3 5 7 9	極軽 軽 中 重 極重	very low low medium high very high	アルベキーナ フランドイオ、ミッション セビラノ	
32	33	QN (* (+)	A面における核の対称性	Stone: symmetry in position A	A面における核の対称性	観察 VG (e)	1 2 3	対称 弱く非対称 強く非対称	symmetric weakly asymmetric strongly asymmetric	アルベキーナ ミッション カラマタ、ルッケス	
33	34	QN (* (+)	B面における核の対称性	Stone: symmetry in position B	B面における核の対称性	観察 VG (e)	1 2 3	対称 弱く非対称 強く非対称	symmetric weakly asymmetric strongly asymmetric	アルベキーナ ルッケス	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
34	35	QN (* (+)	核基部の溝の数	Stone: number of grooves on basal end	核果梗側の溝の数	観察 VG (e)	1 2 3	少 中 多	few medium many	ピクアル、ルッカ マンザニコ	
35	36	PQ (* (+)	核基部の溝の分布	Stone: distribution of grooves on basal end	核果梗側の溝の分布	観察 VG (e)	1 2 3	均一 弱く縫合線周辺に集中 強く縫合線周辺に集中	evenly distributed weakly grouped around suture strongly grouped around suture	マンザニコ、ミッション セビラノ	
36	37	PQ (* (+)	A面における核先端の形	Stone: shape of apex in position A	A面における核果頂側の形	観察 VG (e)	1 2 3	鋭 鈍 円	acute obtuse rounded	カラマタ マウリーノ マンザニコ	
37	38	QL (* (+) G	核の突起の有無	Stone: mucron	核果頂側の突起の有無	観察 VG (e)	1 9	無 有	absent present	ミッション、マンザニコ	
38	39	PQ (* (+)	A面における核基部の形	Stone: shape of base in position A	A面における核果梗側の形	観察 VG (e)	1 2 3	鋭 円 切形	acute rounded truncate	カラマタ アルベキーナ アザパ	
39	40	QN (* G	核表面のしわの強弱	Stone: rugosity of surface	核表面のしわの強弱	観察 VG (e)	1 2 3	弱 中 強	weak medium strong	コロネイキ マンザニコ、ミッション、 アルベキーナ イトラナ、セビラノ	

## VIII. 特性表の説明 (Explanations on the Table of Characteristics)

### 形質 1: 樹勢 (Char.1 Tree: vigor)

樹勢は、高さと量において樹冠の生育を含んだ栄養生長の総量として考慮されなければならない。

The tree vigor should be considered as the overall abundance of vegetative growth which includes the development of the canopy in both height and volume.

### 形質 2: 樹姿 (Char.2 Tree: growth habit)

樹姿は、枝梢の自然な姿勢を示すものである。

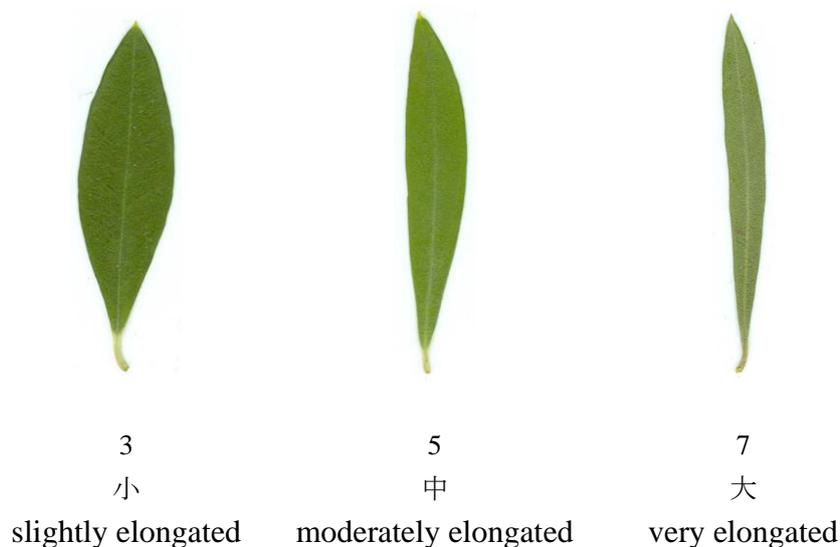
The tree growth habit states the natural attitude of the branches and shoots

### 形質 3: 枝の粗密 (Char.3 Tree: canopy density)

枝の粗密は、樹冠の栄養生長の総量に関係するものである。節間長、枝の数と勢い、葉の大きさを考慮する。

The canopy density refers to the overall abundance of canopy vegetation. The following measures should be taken into account, length of internodes, number and vigor of the shoots and the size of the leaves.

### 形質 6: 葉身の長さ／幅 (Char. 6 Leaf blade: ratio length/width)



形質 8: 葉身縦断面の曲がり (Char.8 Leaf blade: curvature of longitudinal axis)



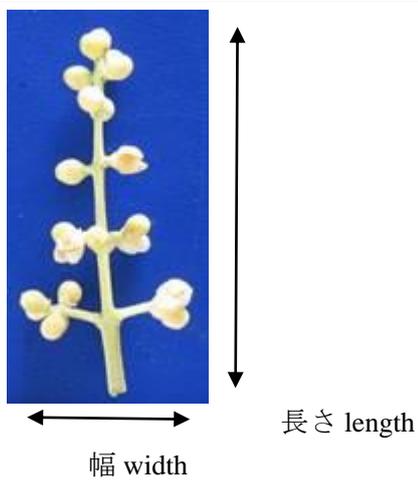
1  
内曲  
incurved

2  
平  
straight

3  
外曲  
recurved

形質 10: 花序の長さ (Char.10 Inflorescence: length)

形質 11: 花序の幅 (Char.11 Inflorescence: width)



形質 12: 花弁の姿勢 (Char.12 Flower: attitude of corolla lobe)



1  
立  
erect

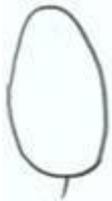
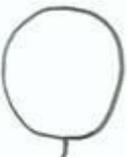


2  
平  
horizontal



3  
外反  
reflexed

形質 16: A 面における果実の形 (Char.16 Fruit: shape in position A)

		← broadest part →		
		(below middle)	at middle	(above middle)
broad (compressed) ← width (ratio length/width) → narrow (elongated)			 2 長方形 oblong	
	 1 卵形 ovate	 4 橢円形 medium elliptic	 6 倒卵形 obovate	
		 5 円形 circular		

形質 24: 果実の突起 (Char.24 Fruit: nipple)



1  
無又は弱  
absent or weak

2  
中  
moderate

3  
強  
strong

形質 25: A 面における果実基部の形 (Char.25 Fruit: shape of base in position A)



1  
円  
rounded

3  
切形  
truncate

形質 26: 果実表面の果粉の強弱 (Char.26 Fruit: bloom of surface)

果実表面の果粉の強弱は、成熟果で評価する。果粉は、こすって取り除くことができる果皮に乗ったワックスである。

Observation should be done on fully mature fruit. Bloom is the waxiness on the skin that can be removed by rubbing.

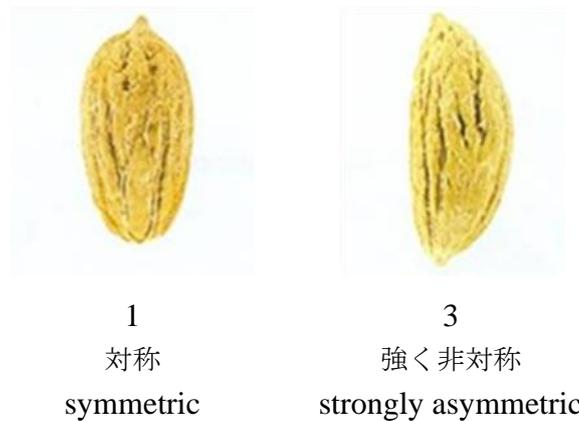
形質 27: B 面における核の形 (Char.27 Stone: shape in position B)

		← broadest part →		
		(below middle)	at middle	(above middle)
narrow (elongated) ↑ width (ratio length/width) ↓ broad (compressed)				
	1 卵形 ovate		2 長方形 oblong	
				
				
			3 楕円形 elliptic	5 倒卵形 obovate
			4 円形 circular	

形質 32: A 面における核の対称性 (Char.32 Stone: symmetry in position A)



形質 33: B 面における核の対称性 (Char.33 Stone: symmetry in position B)



形質 34: 核基部の溝の数 (Char.34 Stone: number of grooves on basal end)

核基部の溝の数は、果梗部の凹みから見て数えることができる。

To count the number of grooves that can be seen from the stalk insertion point.

形質 35: 核基部の溝の分布 (Char.35 Stone: distribution of grooves on basal end)



1  
均一  
evenly distributed



3  
強く縫合線周辺に集中  
strongly grouped around suture

形質 36: A 面における核先端の形 (Char.36 Stone: shape of apex in position A)



1  
鋭  
acute



2  
鈍  
obtuse



3  
円  
rounded

形質 37: 核の突起の有無 (Char.37 Stone: mucron)



1  
無  
absent



9  
有  
present

形質 38: A 面における核基部の形 (Char.38 Stone: shape of base in position A)



1  
鋭  
acute



2  
円  
rounded



3  
切形  
truncate

(参考1)

標準品種の別名

*Synonyms of Example varieties*

<u>標準品種</u> <u>Example variety</u>	<u>別名</u> <u>Synonyms</u>
Coratina	Coratino
Sevillano	Sevillana, Gordal Sevillana
Manzanillo	Manzanilla de Sevilla

(参考2)

標準品種の来歴

<u>標準品種</u> <u>Example variety</u>	<u>標準品種 (カタカナ読み)</u> <u>Example variety in</u> <u>Japanese</u>	<u>来歴</u> <u>Origin</u>
Arbequina	アルベキーナ	スペイン
Ascolana Tenera	アスコラナ・テネラ	イタリア
Azapa	アザパ	チリ
Barouni	バロウニ	チュニジア
Cipressino	シプレッシーノ	イタリア
Coratina(Coratino)	コラティーナ (コラティ ーノ)	イタリア
Frantoio	フランドイオ	イタリア
Sevillano (Gordal Sevillana)	セビラノ (ゴルダル・セ ビラナ)	スペイン
Itrana	イトラナ	イタリア
Kalamata	カラマタ	ギリシャ
Koroneiki	コロネイキ	ギリシャ
Leccino	レッチーノ	イタリア
Lucca	ルッカ	不明
Lucques	ルッケス	フランス
Manzanillo (Manzanilla de Sevilla)	マンザニロ (マンザニ ラ・デ・セビリア)	スペイン
Maurino	マウリーノ	イタリア
Mission	ミッション	アメリカ合衆国
Nevadillo Blanco	ネバディロ・ブランコ	スペイン
Picual	ピクアル	スペイン
Taggiasca	タジャスカ	イタリア

(参考文献:「育てて楽しむオリーブ栽培・利用加工」(創森社)、「WORLD CATALOGUE OF OLIVE VARIETIES」(INTERNATIONAL OLIVE OIL COUNCIL))